

★ (ミャンマー) 3月4日のエンジェルと “Everything will be OK”

(ストリート・タイムズ 3月5日付けから)

1. マンダレーのエンジェル

エンジェル (Kyal Sin Angel) は19歳、ダンサーでテコンドーのチャンピオンだった。

3日、マンダレーの抗議デモに参加していた。そのシャツには “Everything will be OK” と書かれていた。



画面上を左クリックで拡大してください

しかしエンジェルは知っていた。大丈夫じゃないかも知れないということ。だから血液型、電話番号、そして臓器提供の意思カードを身に着けていた。

エンジェルは、昨年初めて民主主義のために戦い、誇りをもって投票した。

その選挙は2月1日のクーデターによって覆され、エンジェルは抗議活動のさなかにマンダレーの路上で頭を撃たれて殺された。

そのとき、エンジェルとともに18人の若者が殺された。

エンジェルのTシャツ姿は、デモ参加者によってひそかにソーシャルメディアに投稿された。

この写真はたちまち拡散され多くの反響を巻き起こしている。（先程の衛星放送でもフランスの放送局が大きく取り上げていた）

以下は彼女と行動をとともにしていたミヤット・トゥの証言。

2. 最後の数分間

トゥは憶えている。



画面上を左クリックで拡大してください

抗議者が催涙ガスを目から洗い流すために水道栓を蹴って開けたエンジェルのこと、催涙ガスのキャニスターを警察に向けて投げ返した勇敢なエンジェルのこと。他人を兄弟のように面倒見て助けたエンジェルのこと…

警察が発砲したとき、エンジェルは私に叫びました。『座って！座って！弾丸が飛んでくるよ。まるであなたは舞台上に立っているようだ』

ミャンマー第二の都市マンダレーでは、平和的な抗議集会が開かれ、数百人が集まっていた。

この日の行動を前にエンジェルは2つの「約束」を呼びかけていた。「私たちは走らない」と「血を流してはならない」だ。そういう行動が、警察の目からは挑発のように見られるからだ。

最初の警察は催涙ガスを発射してきた。それからそれに混じって弾丸が飛んでくるようになった。

そのときの彼女は、頭をわずかに上げて、抗議バナーの横に伏せているところを撮影されている。

それから全員が散開して後退した。

トゥは、「一人の女の子が死んだ」と聞いた。最初、「それが彼女だとは知らなかった。



しかしすぐにフェイスブックに、別の犠牲者と並んで彼女が横たわっている写真を見た。

3. ダンサー、武道の専門家だったエンジェル

トゥはテコンドーの教室でエンジェルと知り合った。エンジェルはマンダレーの DA-Star Dance Club に所属するダンサーでもあった。



Facebook に彼女の最新のテコンドーのビデオが投稿されている。

エンジェルは初めて投票したことに誇りを持っていた。11月8日に投票の印である紫のインクの指先に、キスをしている写真を投稿している。

「私の最初の投票は、私の心の底からのもの。私は自分の国のために義務を果たしました」と記し、それに6つの赤いハートが添えられている。

クーデターの日、エンジェルはフェイスブックに書いた。

「インターネットが遮断され、何が起きているのかわからない」

それから数日後、エンジェルは自分の立場を明確にした。彼女は父親の結んだ赤いリボンを手首につけ、国民民主連盟の赤い旗を振って通りに出た。

4. エンジェルが決死の覚悟

抗議行動はだんだん危険になり、軍隊が警察の背後に配備され、暗殺ライフルを持った戦闘部隊が見え隠れするようになっても、彼女は進み続けた。



警察の背後で突撃ライフルを構える軍の暗殺部隊

エンジェルは自分が命を危険にさらしていることを知っていた。

それまですでに 12 人以上の抗議者が頭を撃たれて殺された。日曜日、マンダレーで別の女性（傍観者）が頭を撃たれた。

人権グループは、ライフル部隊が明らかに標的を絞り、頭部を狙い撃ちしていると見ている。

彼女の最後のメッセージがソーシャルメディアに残されている。

これが私が何かを語る最後かもしれない。あなたをととても愛している。忘れないでください。

そして、医療上の留意点、臓器提供の意思表示を書き残していた。



潜伏中のミャト・トゥは語る。

彼女は幸せな女の子でした。彼女は家族を愛し、父親も彼女をととても愛していました。

いまは戦争中ではありません。人々に実弾を使用する理由はありません。彼らが人間であるならば、そうしてはいけないはずです。

(翻訳 鈴木頌)

原文は **The Straits Times**

<https://www.straitstimes.com/asia/se-asia/everything-will-be-ok-slain-myanmar-teens-t-shirt-slogan-spurs-defiance>

★3月3日のビルマ=ストレートタイムズより

3月2日

リー・シェンロン首相が BBC との会見で下記のごとく発言した。

ミャンマーは殺傷力の使用により、「巨大な悲劇的状況」の下にある。

民間人や非武装のデモ参加者が無差別に殺害されている。少なくとも 21 人が殺され、1000 人以上が逮捕された。



ミャンマーの状況は 1988 年に逆戻りした。2003 年の民主化へのロードマップは踏みにじられた。

スーチー氏たちを逮捕し、あいまいな法律の下で彼女を起訴しても、問題解決からは遠ざかるばかりだ。

「シンガポールはまだ制裁を課していない」と言われる。たしかにそうだ。なぜなら、過去においてビルマへの制裁がまったく軍に影響を与えなかったからだ。

結局、中国に頼らざるを得ない。それすらも、軍部にとっては不快極まりないのだが…

中国にその気がなければそれまでだ。

アメリカ人、ヨーロッパ人がどんなに叫んでも一切関係ない。アセアン諸国も軍人たちの眼中にはなかった。

(リー首相が深い絶望に襲われているのは分かる。しかし ASEAN の力を過小評

価値してはいけない。ここまで民主化を進めてきたのは ASEAN の力なのだ。今こそタフであってほしいと思う)

3月4日

3日は最も暴力的な日となった。

ニューヨークの国連ミャンマー特使は次のように発表した。

軍はいくつかの町や都市で抗議を鎮圧しました。この過程で 38 人が殺害されました。援助機関によると、死者には 4 人の子供が含まれていました。

目撃者によると、警察と兵士はほとんど警告なしに実弾で発砲しました。

政治囚支援グループの共同事務局長によれば、最大都市ヤンゴンでは、治安部隊が発砲を繰り返した。

目撃者によると、少なくとも 8 人が死亡した。1 人は一日の早い時間に、7 人は夕方に市北部の近隣で殺された。

北部でのデモ参加者はこう語る。

私は非常に多くの連続的な発砲音を聞きました。私は地面に横になり、そこに向けて彼らは発射を繰り返しました。

コミュニティーの病院では 7 人の死を確認しました。死因について病院関係者は説明できませんでした。

夜が明けた後、ヤンゴンの住民はろうそくに火をつけ、死者のために祈りを捧げました。

モンユワ市でも、中心街で 6 人が死亡した。

2 番目に大きな都市マンダレー、北部の町 Hpakant、中央の町 Myingyan でも多くの人が殺害されている。

マンダレーで反クーデター抗議を解散させるために警察が発砲した後、抗議者たちは地面に横たわっている。

マンダレーで射殺された2人のうち1人は、19歳の女性であった。写真に映された彼女は、「すべてが大丈夫だ」と書かれたTシャツを着ている。(次回に詳報)



ラジオ・フリー・アジアは次のような事件を報告している。

軍用トラックの車列が通過したとき、14歳の少年を含む4人の子供が兵士に射殺された。

兵士たちは彼の体をトラックに積み込み、現場を去った。

この大虐殺はASEAN諸国外相が暴力の抑制を訴えた翌日に発生した。これが軍部の回答だ。

わかもの活動家は、「それは虐殺です。いまの状況を言葉で説明することはできません。私たちの気持ちを言葉で伝えることはできません」と語る。



3月4日

シンガポール政府は本日、ミャンマー在留民に、できるだけ速やかに離れるよう勧告した。

外務省（MFA）はまた、ミャンマーへの旅行を避けるよう要請した。

現地在留者の声

暴力はますます深刻になっている。

緊張が高まりとても恐ろしい。

明日何が起こるかわからない、不安だ。

最近では銃声がより近くで聞こえるようになった。

現在ミャンマーには、シンガポール人が登録されているだけで500人以上いる。



ASEAN 外相会議の無力な声明

国連は、昨日 38 人が殺されたと発表した。これまでに軍に対する抗議行動で 50 人以上が死亡している。

インドネシアはシャトル外交を実施し、シンガポールは「暴力に愕然とした」と述べた。

しかしこれまでのところ、この地域のどの国も、軍への制裁やその他の措置を示していない。

2 日、ASEAN の外相 10 人がオンライン会議を開き、声明を発表した。

それはさらなる暴力の扇動を控え、建設的な対話による平和的解決を求めた。

声明はスー・チーの名前に言及せず、「クーデター」という言葉を差し控えた。

スーチーと他の被拘禁者の釈放を求めたのはインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポールだけだった。

(翻訳 鈴木頌)
